

乾杯



芙蓉会会長 清水 啓助

皆さんこんばんは。芙蓉会の会長を務めております清水です。

芙蓉会は、特技懇のOB、OGの集まりであります。したがって特許庁の技術系の職員の同窓会でもあります。私どもは社会人人生の一番長い間を特許庁で過ごしてまいりました。そしてまた今も特許関係の仕事に就いている仲間がたくさんおります。そういうわけで特許庁審査部というのは、私どもにとって心のふるさとであります。

この春入られた新人の皆様、入庁おめでとうございませう。今、振り返ってみますと、たくさんの経験をする事、いろいろな人に会う事、よく考える事、そして想像力を豊かにすることが大事ではないかと思っております。新人の皆様が何事に対しても積極的にチャレンジすることを強く願っております。

昨今、知的財産は非常に身近なものとなってまいりました。これは日本の知的財産に対する強い期待があるからだと思います。先ほど小糸部長がおっしゃいましたように、

日本の国際競争力、イノベーションの創出、こうした課題に対して知的財産がこれまで以上に大きな役割を果たすことを心から願っております。

それでは乾杯に移りたいと思います。

それでは新人の皆様のご活躍と特許庁、特技懇、そして日本の知財のさらなる発展と、今日ここにご参集いただきました皆様のご健勝を祈念して乾杯したいと思います。

ご唱和願います。乾杯。

